

# 意見交換会概要

日時	平成25年 6月 13日 (木) 19 : 30 ~ 21 : 20
場所	中郷地区公民館 (中郷地区座談会)
参加者数	約25人
出席者	竹内地域・家庭教育係長、校区審議室 (小谷、清水)、小林支所長、土橋副支所長、房安青谷町自治連合会会長ほか

発言者	主な意見、質問等
参加者 A	<p>選択肢 A から C があるが、自身としては B の統合ということがいいと思う。長い間教員をしていての経験から、ベストの人数は 450 人～500 人規模が適切だと個人的に思っている。選択肢 A でいくと、気高中、青谷中両方を改築することか。予算はあるのか。教員や保護者が子供を育てるように見えるが、実際は、子供が子供を育てている場面がいっぱいあり、それにはある程度の人数がないと、なかなか育っていかない。小さいとどうしてもこじんまりとまとまりすぎてしまう。経験から子どもを育てるのに、1 学年 150～160 人で、男女半々としたら 75～80 人となり、このくらいで 3 学年あれば、部活動の充実や、メリットに書いてあるような効果も期待できると思う。</p>
参加者 A	<p>実際統合すると、地域から子供がいなくなり寂しくなることや、活性化が無くなるということも分かるが、子供を育てるという事だけ考えれば、仕方がないのかなと思う。ただ、統合でいった場合の大きな条件としては、スクールバスの運行ということが必要だと思う。やっぱり通学の保障をきちっとしていかないと、統合はできないと思う。小学校統合の時に、日置や勝部等からは、通学に負担がかり、不公平だと思った。補助金は出ているのかも知れないが。こういう部分をきっちりしていかないといけないと思う。</p>
参加者 B	<p>統合案が独り歩きをしているのではないかと問われたが、そう思うのであれば、「そうではありません」ということを一度でも説明されたのか。聞いているのは、市は統合ということを考えているように聞いている。</p>
参加者 B	<p>中学校の統合について、青谷では小学校の統合を経験していて、その時にどんな問題があったのかということ整理して、今回の学校のあり方の検討の中に取り入れたうえで、結論を出していくべきだと思う。それから、通学方法が今の段階で言えないと言われたが、通学はとても重要な事なので、選択肢 A ならこう、B ならこう考えているということを示していかないとけない、言えないというのはおかしい。</p>
参加者 B	<p>選択肢 C の小中一貫校について、市内で小中一貫校があるが、その結論が一体どういう結論で、意義があったのか、無かったのか、そういう事がないと選択肢に揚げられても考えることが出来ないと思う。</p>
参加者 B	<p>重要なことであるので、ある程度煮詰まった段階で、町単位に教育長や校区審議会委員が説明すべきだ。</p>
参加者 C	<p>参考までにお聞きするが、旧八頭郡の 3 町、今、佐治、用瀬中学校は統合して 5 学級で改築されていて、河原は単独で建替えられている。状況としては同じような状況だと思うが、どういた経緯でそれぞれが改築になったのか、教えていただきたい。</p>

## 意見交換会概要

発言者	主な意見、質問等
参加者 C	地域でも統合などの話になってくると、大変重要な話になってくる中で、1年で結論を出そうとしているのは、校舎の耐震の問題があるからということか。仮に今方向性が決定されて、耐震でも改築でも出来るのは29年以降ということで、4、5年あるが、その間の生徒の安全性に限ってどうされるのか。プレハブを建てて、安全性を確保してから、時間をかけて将来のあり方を検討することも出来ると思うが、その辺はどうか。
参加者 C	今プレハブを建てて安全を確保してから、じっくり時間をかけて議論していくという選択肢もあると思うが、それは考えていないのか。
参加者 C	意見集約の方法はどのようにされるのか。
参加者 D	子供が当事者となってくるけれども、統合となった場合は、地勢的等から気高の方になると思うが、距離的に遠くなると、遅くなって親が迎えに行ったりとか負担が増えて、厳しいかなという面がある。選択肢AとかCがあるが、青谷小にも空き教室があるし、小中一貫校も含めて何とか青谷に残してほしいと思う。
参加者 D	小学校の保護者もこのことは興味があると思うので、説明会等をしていただきたいが、遅い時間の集まりにはなかなか出て来れない家庭も多いので、小学校でしていただいたら色々な意見が聞けるのではないかと思う。